

私たちがキリストの奥義を語れるように祈ってください。

コロサイ4:3

2014(26)年 週 報

11月16日
第3聖日
3378号

「バプテスマ」

聖言

それゆえ、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子としなさい。そして、父、子、聖霊の御名によってバプテスマを授け、」マタイ28:19

礼拝の恵み 第一八章 第七節 礼拝の仕方

第一節 礼拝は霊的であるべきである
テコアの牧者アモスは預言者として、イスラエルの背信と偽善を暴露して告発するために、神からつかわされた。いろいろの事の中でも、時につぎのように、アモスをおして神はイスラエルに言いたもうた。「わたしはあなたがたの祭りを憎み、退ける。あなたがたのきよめの集会のときのおりも、わたしは、かぎたくない。たとい、あなたがたが全焼のいけにえや、穀物のささげ物をわたしにささげても、わたしはこれを喜ばない。あなたがたの肥えた家畜の和解のいけにえにも、目もくれない。あなたがたの歌の騒ぎも、わたしから遠ざけよ。わたしはあなたがたの琴の音を聞きたくない。公義を水のように、正義をいつも水の流れる川のように、流れさせよ。」(アモス五ノ二一〜二四)

こうして、神がそれを守るようにとはつきり命じておかれた祭りそのものが、かれらの偽善と表裏ある行為によって、神の忌みたまうところになった。神の命じておかれたこれらの祭日やささげ物をイスラエルは外面的な正統信仰で守っているが、かれらの不正な生活は彼らの告白する信仰がいつわりであることを立証している。この事からわれらは信仰の正統性と宗教実践の正確さとは、正しくいくることの代替としては貧弱なものであることを、学ぶことができ。ある人が頭を正統信仰と言う雲に突っ込んでいて、足は芳ばしいからぬ実践の泥の中にあるという場合があり得る。(A pギブス「礼拝」より)

イエス・キリスト聖成伝道教会・東洋聖書神学院・聖成基督教団

牧師 山本 稔 〒653-0812 兵庫県神戸市長田区長田町1丁目2番6号

電話：FAX (078) 691-1419 郵便口座番号 01170-3-20374

<http://jchec.org/>

minoru_yamamoto@hotmail.co.jp メール m7-inoru@ezweb.ne.jp

二〇一四年一月九日午前二〇時 礼拝 山本牧師

「大宣教命令」

「イエスは近づいて来て、彼らにこう言われた。「わたしは天においても、地にいても、一切の権威が与えられています。それゆえ、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子としなさい。」

(マタイ二八ノ一八、一九)

「それから、イエスは彼らにこう言われた。「全世界に出て行き、すべての造られた者に、福音を宣べ伝えなさい。信じてバプテスマを受ける者は救われます。しかし、信じないものは罪に定められます。信じる人々には次のようなしるしが伴います。すなわち、私の名によつて悪霊を追い出し、新しい言葉を語り、蛇をもつかみ、たとい毒を飲んででも決して害を受けず、また、病人に手を置けば病人は癒されます。主イエスは、彼らにこう話されて後、天に上げられ神の右の座に着かれた。そこで、彼ら出て行って、至る所で福音を宣べ伝えた。主は彼らと共に働き、みことばに伴うしるしをもつて、みことばを確かなものとされた。」(マルコ一六ノ一五〜二〇)

一、イエスの権威

主イエス様は地上と天上の両方の権威を授けられておられる。その前に立ちただかることはできない。悪魔さえ無力である。マルコ福音書にある、悪霊追放、蛇をつかみ毒を飲んででも害をうけず、病人を癒す奇跡はすべてこの権威のゆえである。

二、出て行く

主イエスの権威を携えて出ていくこと。主人に五タラント託せられた僕はそれを元手に商売して五タラント儲けた。しかし、一タラント託せられた僕は主人が厳しい方であると思い、一タラントを土の下に隠して商売しなかった。それを知った主人は非常に怒って、彼を追い出した。そうです、主イエスの福音を出ていって証しすることを神様は喜びになられる。

三、あらゆる国々の人を弟子とする

あらゆる国々の人に福音を証ししなければなりません。キリストの福音は差別と偏見の垣根を除去します。そればかりでなく、弟子とするのです。弟子は師匠と寝食を共にして、実践してその奥義を盗み取ります。弟子は忠実と素直さと服従が必要です。福音を聞いて救われた者はキリストの弟子となり世界の果てにまで福音を宣べ伝える。

二〇一四年一月二二日午後七時 祈禱会 山本牧師

「聞かれない祈り」(エゼキエル連講三二回)

「人の子よ。イスラエルの長老たちに語つて言え。神である主はこう仰せられる。あなたがたが来たのは、わたしに聞いてもらうためなのか。私は生きている、私は決してあなたがたの願いを聞き入れない。神である主の御告げ。」

(エゼキエル一〇ノ三)

バビロン捕囚のエゼキエルのもとにイスラエルの長老たちが神に対する祈りを願いに来た。しかし、エゼキエルは「神は祈りをお聞き入れしない。」と忠告した。その原因はイスラエルの先祖たちの偶像崇拜の罪のためである。偶像崇拜には性的儀式を行うものが多く見られる。また偶像崇拜は姦淫の罪とされる。天の父なる神を忘れ、造られたものを神と拝み、花婿なるキリストの花嫁である教会が、花婿と違う男性、即ち偶像を愛するのである。